



“一丁啮”^{いっちょかみ}が行く!

第47回：コーポレート・ガバナンス

最近新聞紙上でもコーポレート・ガバナンスという文字を目にすることが多くなりました。日本語では企業統治と訳されています。ウィキペディア (wikipedia: インターネット上のフリー百科事典) によると、コーポレート・ガバナンスとは、『企業の経営の運営全般をいかにしていくべきか、特に企業の首脳部にあたる取締役会の枠組みをいかに構築していくべきかを論じるものであり企業統治とも訳される。』と記されています。すなわち、企業の社会的責任や法令遵守を全うするための仕組みをしっかりとしようということだと思えます。経営者の暴走や組織ぐるみの違法行為を阻止することを目指すということであり、そのためには経営の透明性や経営責任の明確化、内部統制の確立などが必要だとされています。

最近、大王製紙の井川意高前会長の巨額借入問題やオリンパスの損失隠し問題など、企業のモラルにかかわる情けない話が新聞紙上を賑わしています。

この諸々の話については論評することすらバカバカしく思えるのですが、ネット上のあるページには「コーポレート・ガバナンスを損なわせる要因」として右のようなことが記載されていました。

皆さんの会社では如何でしょうか? 思い当たるところがありますか?

私はこれに次の要因を追加したいと思います。

(8) 従業員との経営ビジョンの未共有と連帯意識の欠如

つまり、日常のあらゆるシーンで経営者と従業員のパートナーシップが保たれているかどうか、特に中小企業では重要ではないかと思うのです。

経営者と従業員とでは自ずとその立場や責任は違います。しかしながら、会社の成長・発展を願い日々努力することは同じであるはず。

経営者は『会社が維持でき発展を目指せるのは従業員が頑張ってくれているからこそ』

と思い、従業員は『会社が成長できるのは経営者が常に会社のことを最優先で考え、進むべき道筋を指し示してくれるからこそ』と思う。そんな信頼関係が構築できていれば、ギャンブルの穴埋めに会社のお金を使うなどという不埒な経営者も出現しなかったのではないのでしょうか。

真摯に経営している経営者や真面目に働いている従業員の努力が報われる社会の実現を目指すためにも、それぞれの立場でそれぞれの人が“エリを正す”ということを一考してみたいと思います。

コーポレート・ガバナンスを損なわせる要因

- (1) 経営者の私利私欲
- (2) 役員・社員の遵法意識の欠如
- (3) 組織間の情報分断
- (4) 企業理念の棚上げ、お題目化
- (5) 予算達成第一主義
- (6) ことなかれ主義の蔓延
- (7) 結論を出せない長時間の会議

TOPICS



南都銀行主催の「農商工ビジネスフェア」に出展します!

<http://www.business-nanto.com/>

と き : 2011年12月7日(水) 10:00 ~ 17:00

と ころ : マイドームおおさか (大阪市中央区本町橋2-5)

「あばれるQ」を中心に、各種ソフトウェアのデモンストレーションなども行います。システム相談も随時お受けいたします。

弊社出展ブース No. は **B-30 (2F 会場)**

【元気企業ビジネスフェアNANTO】です。

おふちヨ 2011年忘年会 【落語 de おふちヨ】のご案内

<http://offcho.sb-clinic.com/>

弊社社長の米田がSBC 中小企業診断所設立当時から10年にわたり開催している人脈拡大交流会『おふらいんチョット』(略称: おふちヨ)の落語会&忘年会のご案内です。“昔取った杵柄”で米田が落語を披露します。よろしければ是非、お誘い合わせの上、お越し下さい。(参加ご希望の方は info@sysport.co.jp までその旨をお送り下さい)

◆とき: 2011年12月9日(金) 18:30 ~ 19:30 落語会 / 19:30 ~ 21:00 人脈拡大忘年会

◆ところ: 神泉苑 平八(二条城南側) ◆参加費: 6,000円 (平八名物 極太うどんすき)

◆詳細は、<http://offcho.sb-clinic.com/> をご覧下さい。



じゅんぽう 第十四号

読者 訪問



第23回

お伺いした会社 株式会社デジック <http://www.digic.org>
 お目に掛かった方 代表取締役 上野 雅弘 さん
 会社の所在地 〒581-0053 大阪府八尾市竹淵東1丁目209番地
 主な業務内容 バルブ用パッキン製造販売、コンピュータソフトウェア開発販売
 連絡先など TEL:06-6790-8585 FAX:06-6790-4611 e-mail:mail@digic.org

今回は現在当社と緊密なお付き合いをいただいている大阪八尾のデジックさんをお訪ねしました。デジックさんはCAD/CAMシステムの販売とサポートを担う会社として1988年に設立されました。



上野社長



パッキン製造工場

その後、ご実家が経営されていた上野鉄工所を統合し、バルブ用パッキンの製造も平行して行うかたわら製造業のノウハウを活かし、板金業向け生産管理システムの開発に着手し、生産管理ソフトやベンディングマシン用自動プログラミングシステムの開発会社として、またバルブ用の特殊パッキンの製造メーカーとして現在に至っておられます。

生産管理システムは、大企業・中堅企業向けの高価なシステムが多く、八尾市や東大阪市などに多い中小零細な製造業でも手が届く小規模な製造業にフィットした安価なシステムがない中で、それらの企業に合った小規模製造業向け受注生産型生産管理システム『Assist』を開発し、2007年に販売を開始されました。

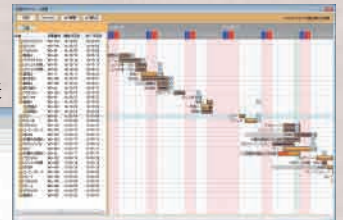


本社社屋

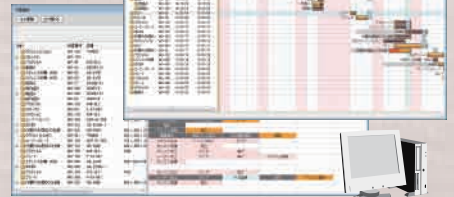
自らも小規模製造業であるという強みを活かして開発された『Assist』は、小規模製造業の現場のノウハウが込められたシステムで、着実にユーザーを増やしてきておられます。

販売管理システムでは3,000社を超える導入実績を持つ弊社も、進捗管理や工数原価管理など生産現場に即した管理ノウハウをお持ちのデジックさんのシステムを活用すべく、生産管理に重点を置くシステムのニーズには『Assist』を取り扱わせていただいております。

生産スケジュールガントチャート



工程進捗表



Assistの画面イメージ



ものづくり優秀企業賞賞状

2009年には大阪府の「ものづくり優良企業賞」を受賞され、2010年には経済産業省の2010年版『KANSAIモノ作り元気企業100社』に選ばれるなど、ハードソフト両面のものづくりに邁進されておられるデジックさんに更なる飛躍を期待したいものです。

犬も歩けばサポート日記



事例をご紹介しているコーナーです。シスポートのサポート担当者の奮戦記からなにかヒントを得ていただければ幸いです。



今日のご相談

インターネット経由で本社と工場を結び材料在庫の見える化を図られたお客様から新たなご相談がありました。今は本社からFAXする出荷指示に従って工場の方が別のパソコンに入力、出荷案内書と送り状・荷札を発行しているというのを省力化したいそうなのです。その別のパソコンをネットワークに参加させればいいのか！という簡単な話のようなのですが、そのパソコンというのがT社の“事務コン”というプリンタ内蔵型のようなもので、なんだか見るからに手強そうなのです。



今日のご提案

T社の人に訊くと、その機種はWindowsXPが入っていて普通のパソコンとして使えるがプリンタは特殊な仕様のためドライバも提供されておらずネットワークプリンタやターミナルサービス環境下での動作は難しい、とのこと。じゃあ送り状や荷札を印字するために別にドットプリンタを買ってもらおう？しかしグダグダ言っても埒があかないので現地に出向いて実行テストをさせてもらうことをご提案しました...

※後日談

おっかなびっくり実行テストに出向きました。ネットワークには普通に繋がり、本社サーバーへのSSH接続、ターミナルサービスによる当社販売管理の実行もOKでした。例のドットプリンタはかなりハマりましたがターミナルサービス環境化でも一応ちゃんと印字するようになりました。これでT社の“事務コン”を1台の端末として利用するメドが立ちました。何事もやってみるもんです。あー、そうですね。この結果を元に肝心の商談を進めないといけないですね。頑張ります。

今日の所感

ほーほー。“事務コン”ってある種の伝票発行専用機なんですよ。確かに指定伝票なんかが多い製造業のお客様のところで以前は良く見かけました。しかし今は中にWindowsが入っているとは。どうせなら新しいパソコンとプリンタを一式買ってもらったらいいな。あー、ご予算が厳しい？まあ我々はソフト屋として自社ソフトをサポートすること以外に“IT屋”であることも標榜している訳ですから、WindowsXPが入っているのなら何とかなるかも知れませんね。当たって砕けるで実行テスト、頑張ってください。

